

# WebインターフェイスおよびCLIを介したVCSオプションキーのインストールの設定例

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[Web インターフェイス オプション キーのインストールの例](#)

[CLIオプションキーの設定例](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

## 概要

このドキュメントでは、Webインターフェイスおよびコマンドラインインターフェイス(CLI)を介したCisco Video Communication Server(VCS)へのオプションキーのインストールについて説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- VCSのインストール
- VCSが正常にインストールされ、WebインターフェイスまたはCLI経由で到達可能な有効なIPアドレスが適用されていること
- VCSシリアル番号に有効なリリースキーを申請し、受信していること
- WebインターフェイスまたはCLIで管理者アカウントを使用してVCSにアクセスできる

注：インストール ガイドは次の場所にあります。

<http://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/telepresence-video-communication-server-vcs/products-installation-guides-list.html>

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアのバージョンに基づいています。

- VCSバージョンx8.7.3
- VCS Control x7.Xおよびx8.Xリリース
- VCS Expressway x7.Xおよびx8.Xリリース
- PuTTY ( 端末エミュレーション ソフトウェア )

- または、Secure CRT や TeraTerm などのセキュア シェル ( SSH ) をサポートしている任意の端末エミュレーション ソフトウェアを使用することもできます。
- オプション キーが含まれるライセンス メール。
- Firefox、Internet Explorer、Chrome などの Web ブラウザ。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 ( デフォルト ) 設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

## 設定

### Web インターフェイス オプション キーのインストールの例

Web インターフェイスの例を示す次のビデオは、このドキュメントの内容を補足します。

ステップ1:VCSをインストールし、シリアル番号を取得し、製品認証キー(PAK)とシリアル番号を使用してオプションキーを申請すると、リリースキーとオプションキーを含むライセンス電子メールがシスコライセンスチームから送信されます。受信した内容の例とオプションキーの検索方法を次に示します。

注 : PAK の例については、このドキュメントの対象外です。

### ライセンス電子メールの例

You have received this email because your email address was provided to Cisco Systems during the Serial Number Lookup process for software license activation key/file. Please read this email carefully and forward it with any attachments to the proper system administrator if you are not the correct person.

```
System Serial Number      : 0B616767
Hardware Serial Number    : 0B616767
MAC Address               : 000000000000
Service Contract          : -
SC End Date               : -

Software Part Name       : L-VCS-FINDME:
Tandberg Item No         : L-VCS-FINDME:VCS - Enable User Policy feature
Shipped Version          : -
Shipped Version Key      : 116341U00-1-1C328745
Shipped Image URL       : -
Upgrade To               : -
Upgrade To Key           : -
Upgrade To Image URL    : -
```

```
Options
Cisco Option Name        : LIC-VCS-300:
Tandberg Option Name     : 116341X300:VCS - add 300 non-traversal calls
Option Key               : 116341X300-1-7D03B558
```

```
Options
Cisco Option Name        : LIC-VCS-DEVPROV:
Tandberg Option Name     : 116341P00:VCS - Enable Device Provisioning
Option Key               : 116341P00-1-1FEB68A1
```

```
Options
Cisco Option Name        : LIC-VCS-GW:
Tandberg Option Name     : 116341G00:VCS - Enable GW feature
Option Key               : 116341G00-1-96554215
```

```
Options
Cisco Option Name        : LIC-VCS-AAA:
Tandberg Option Name     : 116341A00:VCS - Enable AAA feature
Option Key               : 116341A00-1-96554215
```

This is the name and type of option key you will install.

This alpha-numeric chain is what you will add through the Web Interface or CLI

ステップ2：管理者アカウントでWebインターフェイスにログインし、図に示すように[Maintenance] > [Option Keys]に移動します。

The screenshot shows the Cisco TelePresence Video Communication Server Expressway web interface. The 'Maintenance' menu is open, and 'Option keys' is highlighted with a red box. The background shows system information and resource usage tables.

System information	
System name	
Up time	3 hours 29 minutes
Software version	X8.7.3
IPv4 address	
Options	200 Non Traversal C

Resource usage (last updated: 23:29:00 UTC)	
Non-traversal calls	
Current	
Peak	
Since last restart	
License usage current	0%
License usage peak	0%
Traversal calls	
Current video	0
Current audio (SIP)	0
Peak video	0

ステップ3：受信した電子メールからオプションキーをコピーし、[オプションキーの追加(Add option Key)]フィールドに貼り付け、図に示すように[オプションの追加(Add option)]をクリックします。

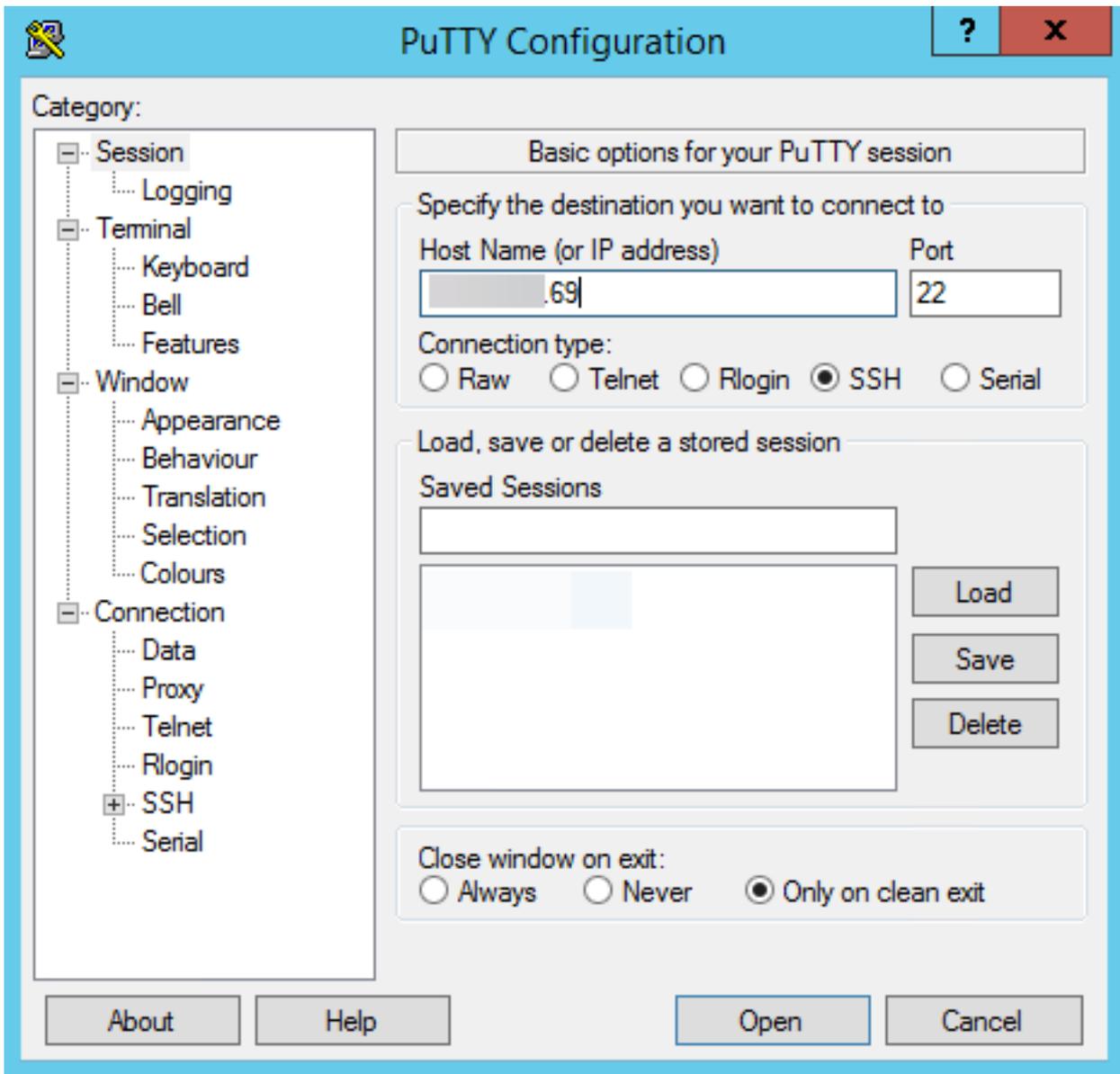
The screenshot shows the Cisco TelePresence Video Communication Server Expressway web interface. The 'Add option key' field is highlighted with a green box, and the 'Add option' button is highlighted with a green arrow.

**注意：**[オプションキーの追加]フィールドにオプションキーを追加します。[リリースキー]フィールドにオプションキーを追加するとエラーが発生するのは、よくある間違いです。

**注：**VCSにオプションキーを追加すると、すぐに有効になります。再起動は不要です。

## CLIオプションキーの設定例

ステップ1：図に示すように、CLI SSHセッションを開きます。



ステップ2：管理者アカウントでログインし、プロンプトが表示されたら管理者パスワードを入力します。

ステップ3：コマンド `xCommand OptionKeyAdd Key` を入力します。 <option key> をクリックします。

```
login as: admin
Using keyboard-interactive authentication.
Password:

2 alarms:
 * warning   Insecure password in use - The root user has the default password
set
 * warning   Insecure password in use - The admin user has the default password
set

Last login: Mon Nov  7 00:14:54 UTC 2016
TANDBERG Video Communication Server X8.7.3
SW Release date: 2016-04-14 10:20, build

OK
xCommand OptionKeyAdd Key: 116341L00-1-D1E934F8
*r Result (status=OK)
   ID: 3
*r/end
```

注意：[オプションキーの追加]フィールドにオプションキーを追加します。[リリースキー]フィールドにオプションキーを追加するとエラーが発生するのは、よくある間違いです。

注：VCSにオプションキーを追加すると、すぐに有効になります。再起動は不要です。

## 確認

ここでは、設定が正常に機能しているかどうかを確認します。

オプションキーを追加します。[オプションキー(Option Keys)]ページの上部に、[オプションキーの追加(Option key added)]というバナーが表示され、図に示すように[キー(Key)]リストにキーが表示されます。

### Option keys

Option key added

Key	Description	Status	Validity period
<input type="checkbox"/> 116341Y50-1-5153D689	50 Traversal Calls	Active	Unlimited

System information

Serial number: 09C166FF

Active options: 0 Non Traversal Calls, 50 Traversal Calls, 2500 Registrations, Encryption.

Software option

Add option key:

Release key

Release key:

Current licenses

Non-traversal calls	0
Traversal calls	50
Registrations	2500

## トラブルシューティング

ここでは、設定のトラブルシューティングに使用できる情報を示します。

キーを追加すると、図に示すように「Unable to add option key」というエラーが表示されます。

### Option keys

Unable to add option key

Key	Description	Status	Validity period
<input type="checkbox"/> 116341Y50-1-5153D689	50 Traversal Calls	Active	Unlimited

- 英数字のチェーンを正しくコピーして、オプションキー値であることを確認します。余分なスペースや文字が入っていないことを確認します。
- 正しいVCSまたはExpresswayにオプションキーが適用されていることを確認します。オプションキーはデバイスのシリアル番号と一致しています。
- オプションキーを追加したことを確認します。オプションキーはリリースキーフィールドではなく、[オプションキーの追加]フィールドに追加します。図に示すように、VCSは[Release Key]フィールドでオプションキーを受け入れ、再起動を求めます。

注：VCSにオプションキーを追加すると、すぐに有効になります。再起動は不要です。

### Option keys

 Saved: The release key has been updated, however a restart is required for it to take effect.

再起動後にバナーがポップアップし、図に示すように「Invalid release key」というエラーが表示されます。



Status System Configuration Applications Users Maintenance

## Overview

 Invalid release key: Release key is missing: the system is in demonstration mode and has limited functionality; contact your Cisco support representative to buy your release key.

正しいフィールドにリリースキーとオプションキーをインストールし、VCSを再起動してこの問題を修正します。

このドキュメントの「トラブルシューティング」セクションに記載されている手順を確認した後、エラーが発生した場合は、Cisco TACに連絡してください。